

特 定 施 設 等 変 更 届

年 月 日

尼崎市長 様

届出者 住所（法人にあつては、主たる事務所の所在地）

氏名（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

工場長等が届出者となる場合は
委任状を添付

電話（ ）

電子メール

担当者氏名

工場等の名称 施設が設置等される事業所の名称	資本金の額又は出資の総額
工場等の所在地 施設が設置等される事業所の住所	
業 種 総務省の日本産業分類の中分類から該当するもの	主な製品又は加工の種類
作業の種類及び方法 別添作業工程図のとおり	常時使用する従業員の数 構内協力会社、派遣社員を含む
特定施設等の種類、構造、配置並びに使用及び管理の方法 別紙のとおり	
ばい煙等の処理の方法 別紙のとおり	工事の着手年月日 別紙のとおり
工事完成年月日 別紙のとおり	特定施設等の使用開始年月日 別紙のとおり
備考	

注 1 変更に係る事項について、変更前及び変更後の内容を明示して記入してください。

2 別紙は、様式第8号の別紙を用いてください。

別紙

1 ばい煙及び粉じんに係るもの
(1) ばい煙発生施設の構造等

- 1 (1)～(3)：ばい煙
(4)：有害物質
2 (1)：粉じん ((2)～(4)以外のもの)
(2)：粉じん (堆積場)
(3)：粉じん (コンベア)
(4)：粉じん (粉砕機、摩砕機、ふるい)

左列に変更前の数値等を、
右列に変更後の数値等を記載

工場等における施設番号		事業所で管理している 施設ごとの番号	
施設の種類		施設の項番号、種類及び数 例：第6項 金属加熱炉 2基	
名称・型式		一般的な施設名称、 メーカー名及び型式	
規	伝熱面積 (㎡)	重油換算した値	
	バーナーの燃料の燃焼能力 (重油換算ℓ/h)		
	原料の処理能力 (t/h)		
	火格子面積・羽口面断面積 (㎡)		
	変圧器の定格容量 (KVA)		
	触媒に付着する炭素の燃焼能力 (kg/h)		設備仕様書を参照するか、 メーカーに問い合わせるか、 同種施設より類推すること
	焼却能力 (kg/h)		
	燃焼室の容積 (m ³)		
	乾燥施設の容量 (m ³)		
	電流容量 (KA)		
模	ポンプの動力 (KW)		
工事の着手年月日		届出日より 60 日以上後になっていること	年 月 日
工事の完成年月日			年 月 日
特定施設等の使用開始年月日		施設が設置された日	年 月 日

(2) ばい煙発生施設の使用及び管理の方法

工場等における施設番号		別紙の1(1)と同じ施設ごとの番号			
使用状況	1日の使用時間及び月使用日数等	時～時 時間/日	時～時 時間/日	回/日	回/日
	季節変動				
原材料 (ばい煙の発生に影響のあるものに限る。)	種類	ばい煙 (ばいじん、SOx、NOx、有害物質)			
	使用割合				
	原材料中の成分割合 (%)	硫黄分 カドミウム分	鉛分 ふっ素分	硫黄分 カドミウム分	鉛分 ふっ素分
	1日の使用量				
燃料又は電力	種類	重油、都市ガス、電力等具体的に記載			
	燃料中の成分割合 (%)	灰分	重量比%か容量比%かを明らかにし、メーカー保証の最大値を記載		硫黄分
	発熱量	高位(総)発熱量を記載 液体燃料の場合はℓ当たり 気体燃料の場合はNm ³ 当たり			
	通常の使用量 (ℓ/h)				
	混焼割合	専燃の場合は○専燃と記載し、 混燃の場合は通常操業時の 燃料使用量の熱量比割合で記載			
排出ガス量 (Nm ³ /h)	湿り	最大	通常	最大	通常
	乾き	最大	通常	最大	通常
排出ガス温度 (℃)		通常 of ガス温度を記載			
ばい煙の濃度	ばいじん (g/Nm ³)	最大	通常	最大	通常
	硫黄酸化物 (容積比 ppm)	最大	通常	最大	通常
	カドミウム及びその化合物 (mg/Nm ³)	最大	通常	最大	通常
	塩素	最大	通常	最大	通常
	塩化水素 (mg/Nm ³)	最大	通常	最大	通常
	ふっ素、ふっ化水素及びふっ化けい素 (mg/Nm ³)	最大	通常	最大	通常
	鉛及びその化合物 (mg/Nm ³)	最大	通常	最大	通常
ばい煙量	硫黄酸化物 (Nm ³ /h)	最大	通常	最大	通常
備考	ばい煙の排出状況に著しい変動のある施設についての一工程中の排出量の変動の状況、窒素酸化物の発生抑制のために採っている方法等を記載すること。 ガスタービン、ディーゼル機関、ガス機関又はガソリン機関については、常用又は非常用の別を明らかにすること。				

乾き排ガス中の濃度を記載
(処理施設がある場合は処理後の濃度)

設備仕様書を参照するか、メーカーに問い合わせるか、同種施設より類推すること

(3) ばい煙の処理の方法

ばい煙に係る処理施設の工場等における施設番号		事業所で管理している処理施設ごとの番号 (処理施設がない場合は記載不要) (煙突は処理施設ではない)	
処理に係るばい煙発生施設の工場等における施設番号		別紙の1(1)と同じ施設ごとの番号	
ばい煙処理施設の種類・名称・型式		一般的な処理施設名称、メーカー名及び型式 (処理施設がない場合は記載不要)	
工事の着手年月日		年 月 日	年 月 日
工事の完成年月日		処理施設の設置年月日等	年 月 日
特定施設等の使用開始年月日		年 月 日	年 月 日
処 理 の 濃 度	排出ガス量 (Nm ³ /h)	最大	処理ガス量の計画値(設計値)を記載
		通常	
	排出ガス温度 (°C)	処理前	
		処理後	
	ばいじん (g/Nm ³)	処理前	処理施設の入口、 出口濃度を記載 (処理施設がない 場合は記載不要)
		処理後	
	硫黄酸化物 (容積比ppm)	処理前	
		処理後	
	カドミウム及びその化合物 (mg/Nm ³)	処理前	
		処理後	
	塩素 (mg/Nm ³)	処理前	
		処理後	
	塩化水素 (mg/Nm ³)	処理前	
		処理後	
ふっ素、ふっ化水素及びふっ化けい素 (mg/Nm ³)	処理前		
	処理後		
鉛及びその化合物 (mg/Nm ³)	処理前	設備仕様書を参照するか、 メーカーに問い合わせるか、 同種施設より類推すること	
	処理後		
能 力	ばい煙量 (Nm ³ /h)	最大	処理前
		通常	処理後
	捕集効率 (%)	ばいじん	
		硫黄酸化物	
効 率 (%)	カドミウム及びその化合物		
	塩素		
	塩化水素		
	ふっ素、ふっ化水素及びふっ化けい素		
使用 状況	1日の使用時間及び月使用日数等	時間/回 回/日 日/月	時間/回 回/日 日/月
	季節変動		
排出口の実高さ (m)		地上からの高さ	
補正された排出口の高さ (m)			
排出速度 (m/s)			

(4) 有害物質の施設の種類の種類、構造、使用の方法及び有害物質の処理の方法

工場等における施設番号		事業所で管理している 施設ごとの番号		
施設の種類の種類		施設の項番号、種類及び数 例：第21項 塗装施設 2基		
名称・型式		一般的な施設名称、 メーカー名及び型式		
規模（能力）				
工事の着手年月日		年 月 日		年 月 日
工事の完成年月日		年 月 日		年 月 日
特定施設等の使用開始年月日		年 月 日		年 月 日
使用 の 方 法	原料 の 材 料	種類	有害物質の発生に影響のあるものに限る	
		使用割合（％）		
	使用量	1時間あたり		
		1日あたり		
	使用温度（℃）			
	製品回収率（％）			
処 理 の 方 法	発生が予想される有害物質の種類		規制の対象となる有害物質に限る	
	発生の理由			
	処理施設の種類の種類・名称・型式		一般的な施設名称、 メーカー名及び型式	
	排出ガス量 (Nm ³ /h)	処理前		
		処理後		
	排出ガス温度 (℃)	処理前		
		処理後		
	排出口の有害物質の濃度 (ppm) 該当物質毎に記載	処理前		
		処理後	設備仕様書を参照するか、 メーカーに問い合わせるか、 同種施設より類推すること	
	捕集効率（％）			
排ガス集煙（集じん）方法 （又はできない理由）				
煙突・フード等の大きさ（高さ×頂口径）				
排出速度（m/s）				
管理計器の種類				

- 2 (1) : 粉じん ((2)~(4)以外のもの)
 (2) : 粉じん (堆積場)
 (3) : 粉じん (コンベア)
 (4) : 粉じん (粉砕機、摩砕機、ふるい)

2 粉じんに係るもの

(1) 粉じんの施設の種類、構造、使用の方法及び粉じん処理の方法

工場等における施設番号		事業所で管理している施設ごとの番号		左列に変更前の数値等を、右列に変更後の数値等を記載		
施設の種類		施設の項番号、種類及び数 例：第17項 切断機 2基				
名称・型式		一般的な施設名称、メーカー名及び型式				
規模（能力）		単位は条例の規模要件に合わせて記載				
工事の着手年月日		届出日より60日以上後になっていること 月 日				
工事の完成年月日		年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	
特定施設等の使用開始年月日		施設が設置された日 年 月 日		年 月 日	年 月 日	
使用の 方法	原料の種類	木材、生コンクリート等具体的に記載				
		使用割合 (%)				
		使用量	1時間あたり			
	1日あたり					
	使用温度 (°C)					
	製品回収率 (%)					
処理の 方法	発生が予想される粉じんの種類					
	発生の理由					
	処理施設の種類・名称・型式		一般的な施設名称、メーカー名及び型式			
	排出ガス量 (Nm ³ /h)	処理前				
		処理後	湿り排ガス量を記載			
	排出ガス温度 (°C)	処理前				
		処理後				
	排出口の粉じん濃度 (g/Nm ³)	処理前				
		処理後				
	捕集効率 (%)					
排ガス集煙（集じん）方法（又はできない理由）						
煙突・フード等の大きさ（高さ×頂口径）						
排出速度 (m/s)						
管理計器の種類						

設備仕様書を参照するか、メーカーに問い合わせるか、同種施設より類推すること

(2) 粉じん発生施設（堆積場）の構造並びに使用及び管理の方法

工場等における施設番号		事業所で管理している 施設ごとの番号	
名称・型式		一般的な施設名称、 メーカー名及び型式	
規模	面積 (㎡)		
	堆積能力 (t)		
工事の着手年月日		—年 届出日より 60 日以上後になっていること	日
工事の完成年月日		年 月 日	年 月 日
特定施設等の使用開始年月日		— 施設が設置された日	年 月 日
使用	堆積物の種類・性状・通常の間延べ 堆積量 (t/年)	種類、比重、粒度、水分値等の概数 及び年間延べ堆積量について記載	
	堆積物の中に設置されている建築物の概要		
及び	散	装置の種類・型式・基数	設備仕様書を参照するか、 メーカーに問い合わせるか、 同種施設より類推すること
		装置の能力 (m ³ /h)	
	水	散水の方法	
防じんカバーの設置状況			
管理	薬液	薬液の種類・名称	設備仕様書を参照するか、 メーカーに問い合わせるか、 同種施設より類推すること
		装置の種類・型式・基数	
	散	装置の能力 (m ³ /h)	
	布	散布の方法	
方法	締固め	装置の種類・型式	
		締固め方法	
その他		散水等と同等以上の効果を 有する措置を講ずる場合に記載	

(3) 粉じん発生施設（コンベア）の構造並びに使用及び管理の方法

工場等における施設番号		事業所で管理している 施設ごとの番号	
名称・型式		一般的な施設名称、 メーカー名及び型式	
規 模	ベルト幅 (cm) ・バケット内容積 (m ³)		
	単基の長さ (m) × 基数		
	ベルト・バケットの速度 (m/分)		
	運搬能力 (t/h)		
工事の着手年月日		届出日より 60 日以上後になっていること	月 日
工事の完成年月日		年 月 日	年 月 日
特定施設等の使用開始年月日		年 月 日 施設が設置された日	年 月 日
使 用	運搬物の種類・運搬物の性状・通常の 月間運搬量 (t/月)		
	コンベアがその中に設置されている建 築物の概要		
及 び 管 理 の 方 法	集じん機	一般的な施設名称、 メーカー名及び型式	設備仕様書を参照するか、 メーカーに問い合わせるか、 同種施設より類推すること
	集じん機の種類・型式		
	集じん機の効率 (%)		
散 水 設 備	送風機の原動機出力 (kW)		
	装置の種類・型式		
	装置の能力 (m ³ /h)		
防 じん カ バ ー の 設 置 状 況	運搬量当たり散水量 (ℓ/h)		
	防じんカバーの設置状況		
その他		散水等と同等以上の効果を 有する措置を講ずる場合に記載	

不要箇所は二重線で消す

(4) 粉じん発生施設(粉砕機、摩砕機、ふるい)の構造並びに使用及び管理の方法

工場等における施設番号		事業所で管理している 施設ごとの番号	
施設の種類		施設の項番号、種類及び数 例：第3項 摩砕機 2基	
名称・型式		一般的な施設名称、 メーカー名及び型式	
規模	原動機の定格出力 (kW)		
	処理能力 (t/h)		
工事の着手年月日		—年 届出日より60日以上後になっていること	日
工事の完成年月日		年 月 日	年 月 日
特定施設等の使用開始年月日		—年 施設が設置された日	年 月 日
使用	処理対象物の種類・通常の間月間処理量 (t/月)		
	粉砕機・摩砕機・ふるいがその中に設置されている建築物の概要		
及び	集じん機	集じん機の種類・型式	
		集じん機の効率 (%)	
		送風機の原動機出力 (kW)	
管理	散水装置	装置の種類・型式	設備仕様書を参照するか、 メーカーに問い合わせるか、 同種施設より類推すること
		装置の能力 (m ³ /h)	
		処理量当たり散水量 (ℓ/h)	
方法	防じんカバーの設置状況		
	その他	散水等と同等以上の効果を 有する措置を講ずる場合に記載	